

鯖江市中心街における、商業施設を活用した 「駅と駅を結ぶ物語」開発に対する中間支援活動

平成27年2月23日

「駅と駅を結ぶ物語」実行委員会

1. 事業実施地域の課題・事業の背景

鯖江市 人口増加 住みよさランキング 全国6位
福井県、小中学生の学力、運動能力、長寿
幸福度NO.1の県

知る人ぞ知る、眼鏡の産地

•丹南地区

2市（鯖江市・越前市）、3町（池田町・南越前町・越前町）
人口19万人

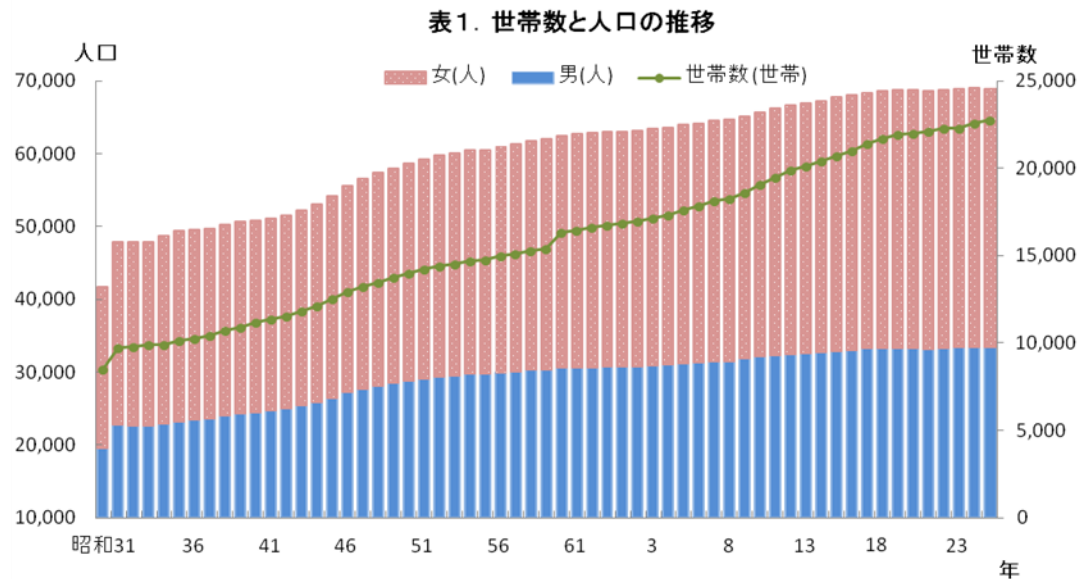
•越前漆器 越前和紙 越前焼き 越前打ち刃物

これらの伝統産業の集積地にして、繊維、化学、IT産業の
集積地でもある。

1. 事業実施地域の課題・事業の背景

その反面、福井県人は発信下手、アピール下手から、観光客が少なく鯖江らしさをアピールするものが無いと思っている市民が多い。

JR鯖江駅を中心に発展した、市街地は車社会の浸透から郊外に店舗が移り、衰退をたどっている。又、8年後には北陸新幹線開通に伴い、特急が停車しない駅となることから、駅を中心とした中心市街地活性化を早急に進める必要がある。



2. 地域づくり活動支援体制の構成

「駅と駅を結ぶ物語」実行委員会は、鯖江市中心街（JR鯖江駅と、道の駅「西山公園」を結ぶ地域）における、地域活性化、地域の課題解決のために「駅と駅を結ぶ物語」事業を創設した。

◎構成主体・役割（中間支援の内容）

構成主体	役割（中間支援の内容）
（特活）Comfortさばえ	事務局 Chobit横井氏、こころ清水氏と 繋がりが深く全体支援
鯖江市役所	特に、市民協働課は、市民主役事業などを通して支援
鯖江市中小企業創業支援協議会	起業家育成プログラムを持ち、金融機関だけでなく側面支援も可能。中小企業等の創業希望者等を、市と各支援機関が連携し、ワンストップ体制で応援します。鯖江市、鯖江商工会議所、日本政策金融公庫、市内金融機関（福井銀行、福井信用金庫、等）ふくい産業支援センター、さばえ公共未来塾などが参加
（特活）さばえNPOサポート	中間支援組織として、多くの市民活動団体との太いパイプがあり、団体、個人のネットワークから支援

3. 担い手の概要

- Chobit(チョコビット)横井理恵さんが提案、実践するプラン
Cobit とは、「名前の由来」
少しという意味の「ちょっと」という言葉と、
最小単位の「bit」を合わせて「chobit(ちょびっと)」
小さいという意味を込めて名付けました。
chobitは誰もが気軽に、これならできるかも！
という気持ちで始めることが出来る、新しいお店、
ビジネスの仕組みとなることを目指しています。



ロゴマークはchobitの屋台の形をイメージさせていま
週末起業の形であるChobit。

chobitを使えば、何かを始めることが出来る。

ちょっとやってみたかった事を叶えることが出来る。

それが街にたくさん集まると楽しくなる。そんな思いがこもっています。

**横井さんは、自分のビジネスを進めることと、仲間を増やす必要性との
板挟みに苦しんでいた。じゃ、仲間を増やす手伝いをしましょう！**



ビジネスプランコンテスト等で、注目を集めデビュー！

3. 担い手の概要

・特定非営利活動法人「小さな種 こころ」現在こころは三つの地域課題を掲げ、解決に向けた取り組みを行なっています。一つは食に関する問題です。健康長寿な福井県の食の原点、21世紀の福井型食育のトレンドとして今日では位置づけられました。私たちこころは、地産地消の食材をできる限り使い、「地元伝承料理」や「おふくろの味」を楽しんでいただける軽食カフェとして食育に関わる活動を続けています。

二つ目は、こころには設立の段階から大切にしてきた重要な取り組みがあります。それはハンディキャップの有無に関わらずだれにでも居場所と出番のある支えあいの心に満ちた地域づくりのための活動です。

三つ目の取り組みは、様々な地域課題を市民が語り合い学び合う場づくりを支援する、コミュニティサロン支援事業です。身近な問題を知る機会、学ぶ機会、そして話し合う機会は、市民自らが提案し実行していくものであり、地域性、地域環境をこころは大切に守り育てていきます。この市民主役のサロンが契機となり、市民活動の新たなミッションが育まれることを私たちは期待しています。

こころは、鯖江においても福井県内においても、実績も歴史もあるNPO法人の一つですが、地域の食のブランディングは、一つの団体だけで成し遂げることは難しい。

じゃ、地域の飲食店や、商店街を味方につける手伝いをしましょう！



コミュニティカフェ「こころ」店内と、サバヌーボーを使った、ヘルシーランチ！



4. 事業概要

・駅と駅の間には、多くの商業施設や商店街が存在します。これらの資源を利用して「駅と駅を結ぶ物語」として、統一感を作り出したいと考えます。統一感演出のために、さばえ公共未来塾、受講生で、「福井ビジネスプランコンテスト」グランプリを受賞した、横井理恵さんが代表を務める「chobit」プラン※3、(特活)小さな種こころ※4は、10年間のレストラン経営ノウハウが有り「駅と駅を結ぶ物語」のさばえオリジナル料理開発販売を進める能力がある事から、さばえブランド食材を使用したオリジナル料理の開発販売を支援いたします。又、オリジナル料理をつくることで、障害者雇用の拡大にも繋がると考えます。

・【地域づくり活動の自立・継続に向けた支援の考え方】

「chobit」のプランは、移動式販売店であり、若い起業家育成にもつながる。各商業施設に「chibiTown」が出没することで、まちの活性化と、物語による統一感が生まれる。又、鯖江市の玄関口であるJR鯖江駅からオリジナル料理、仮称「駅と駅物語」を販売し、各商店街やchobitで販売することで、相乗効果が得られる。本事業は、既存の商業施設の活性化と、小さく始める起業家の連携であることから、一時的なものに終わらず継続する可能性が高い。

鯖江市中心街における、商業施設を活用した
「駅と駅を結ぶ物語」開発に対する中間支援活動

鯖江の新しい料理

c h o b i t

「駅と駅を結ぶ物語」実行委員会

(特活)さばえ NPO サポート

鯖江市中小企業
創業支援協議会

(特活)Comfort さばえ

鯖 江 市

鯖江の新しい料理開発支援

- ・ 今、鯖江に求められている料理・素材は？
- ・ 専門家のアドバイス
 - ▷ 東京からの視点
 - ▷ 福井からの視点

chobit 拡大支援

- ・ chobit town で『まちづくり』
- ・ 週末起業家が増えれば街に活気が戻る！
- ・ 専門家のアドバイス
 - ▷ ビジネスとして成功させるには！

(特活)小さな種こころ
サヴァヌーヴォーを使った料理

chobit 横井さん
仲間創り

開 発 ・ 販 売

ま ち の 活 性 化

5. 各取組の内容

取組1 : さばえオリジナル料理開発

(特)小さな種こころが、新しい鯖江料理を開発することで、まちが活性化し、障がい者雇用にも繋げる！

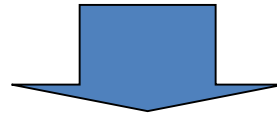


小さな種こころ が、鯖江の新しい料理をみんなで考えたい！という思いを形に！

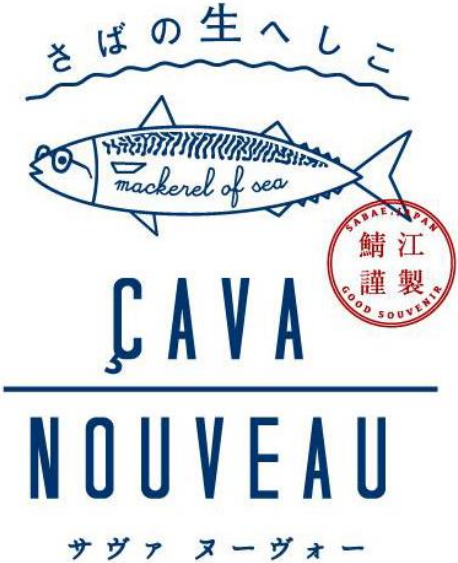
市民が集まって、伝統料理を食べながら、福井の、鯖江の食を考え、議論した！

歴史、文化、地産池消、斬新、新しい、うまい、ストーリー。。食材はなんだ！

鯖江って、うみが無いんだけど、昔から鯖食べるよね？やっぱり鯖だね！



伝統的な福井のへしこは、鯖を開いて内臓やえらを取り除き、約2週間漬け込んだ後、鯖を取り出して、糠とともに本漬けし樽に重石をした後10カ月程度寝かせて熟成を進めたものを言います。ですが「サバヌーボー」は、塩加減や糠を調整して、1か月程度寝かせた、いわば鯖の浅漬けのようなものです。塩辛くなく、脂がのり今までとは違う新しい料理方法が生まれます！現在、鯖江の多くの飲食店でメニュー開発を依頼し、鯖江の新しい料理として定着を目指しています。

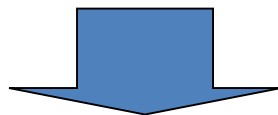


担い手の活動	中間支援の内容・構成主体	
特定非営利活動法人「小さな種 こころ」 駅拠点の充実、料理開発、	日本政策金融公庫、市内金融機関（福井銀行、福井信用金庫、等）	商品化に向けてのアドバイス
	鯖江市	食品安全指導、駅拠点アドバイス、等
	NPOサポート	商店街調整、加工業者調整

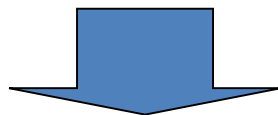
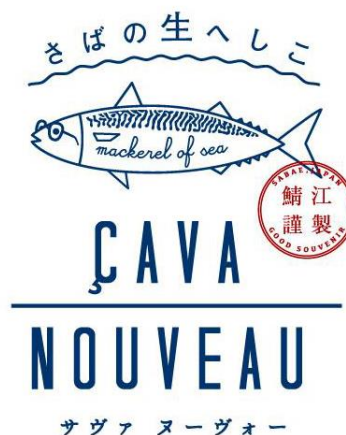


鯖江の料理を、報恩講料理から
考えよう！
ワークショップ開催

鯖江の歴史や文化、風土、など
色々な事を話題として、料理と、
食材について、多くの知恵を絞っ
た！



鯖へしこをアレンジ！ブラン
ド化！料理試作！試食会！





コミュニティカフェ「こころ」のヘルシーランチに登場！
調理現場でも、炙って生に近い方が美味しいという意見。

老舗料亭 當田屋御殿でも、新作料理発表！薄味なので、和食に合うと絶賛！



5. 各取組の内容

取組2：「chobit」プラン

横井理恵さんが、Chobit を使う仲間を増やし週末起業家が育つことで、起業家を目指す若者が増え、まちに活気をあたえる。



横井さんは、Chobit プランでいくつかのビジネスプランコンテストで優勝した。その魅力を発信するも、思うように仲間は増えず。全国のクラウドファンディングへ応募を検討するも、集めた資金で何をして何を還元できるのだろうか。迷う。

担い手の活動	中間支援の内容・構成主体	
横井理恵	日本政策金融公庫、市内金融機関(福井銀行、福井信用金庫、等)	助成金申請などのアドバイス
	鯖江市	出店先紹介、販売に関するアドバイス、等
	NPOサポート	仲間づくり紹介、アドバイス



伝統工芸ガチャ
ガチャで、出店
しよう！
眼鏡素材のアクセサリーや、
ちっちゃな漆器
も入れてみた！



道の駅「西山公園」で、
出店してみた！



Ça va Nouveau も
早く、売りたい！

6. 各取組の成果と課題

取組1: さばえオリジナル料理開発

◎成果

1. 「NPO法人 小さな種こころ」が、地域と連携して地域ブランディング化を進めることが重要であり、効果的である事を再認識した。
地域共通の食材を、ランチ食材として提供することが出来た。
2. 商店街でも、試作品を商品として提供して頂けた。
(老舗料亭、ホテル内イタリアンレストラン、駅前寿司店)
他団体と共同して、試食会を開催し、多くの意見を得ることが出来た。
3. 食材開発となったため、飲食店料理人が興味をもって使っていた。

◎課題

1. 料理開発から、加工食品開発へ変更したため、時間が足りなかった。
2. サバユーボーの加工の難しさ、流通の難点など改善しなければならない事が多く見つかった。
3. 「NPO法人 小さな種こころ」の持つ、こころファームを活かすことが出来なかった。

◎中間支援内容

1. オリジナル料理に必要な、オリジナル食材開発支援
2. ブランドデザイン支援
3. 協力店舗開発支援

6. 各取組の成果と課題

取組1:さばえオリジナル料理開発

◎活動の社会的意義・社会的成果

地域には、多くの組織があり利害関係が有る。商工会議所や商工会といったビジネスのプロ集団が存在し、ビジネスの視点からまちづくりや活性化を進めている。そのような立場とは違う視点で中間支援することは、早急にまち全体を動かす力はないかもしれないが、思い切った手法で閉塞感に包まれている、まちづくりの課題に風穴を開けることが出来るのではないかと考えています。

◎地域ビジネスの達成状況・今後の見通し

「NPO法人 小さな種こころ」が、鯖江料理のブランディング化を進めることは継続することで可能。但し、地域ブランディングとして、市民だけではなく市外、県外の人たちに向けたアピールをするには、地域のブランドとする必要がある。今後は、多くの飲食店や団体、行政と一緒に育てることが必要。

◎成果目標

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
オリジナル料理開発販売		「cafe&lunch こころ」にて販売開始	こころランチにて提供中
障害者雇用(増加数)		3人	3人増加

6. 各取組の成果と課題

取組2:「chobit」プラン

◎成果

1. 横井氏が、自身が考えた「chobit」プランを、いかにして生かしていくか、自身の中で整理がつき動き出したこと。
2. 個人での出店を支援できたことで、本人のモチベーションを保つことが出来た。
3. 仲間を見つけることが出来、週末起業家の最低限度の目処がついた。
4. ワークショップを開催し、chobit製作、&ビジネスプランコンテストで新しいビジネスへの足掛かりが見えてきた。
5. 鯖江に根づく、伝統工芸とのコラボレーションという新しい企画が生まれた。

◎課題

1. 個人の起業家支援と云う事で、精神的な安心や希望といった、相談や、アドバイスに多くの時間を要することが必要不可欠である。
2. 週末起業家への融資は厳しい。
3. 食品販売(Ça va Nouveauを含む)には、小さすぎるChobitには苦しい。

◎中間支援内容

1. プラン作成支援
2. ブランドデザイン支援
3. 仲間発掘支援

6. 各取組の成果と課題

取組2:「chobit」プラン

◎活動の社会的意義・社会的成果

鯖江市は客観的に判断しても、他市町村と比べると自由で活発というイメージが有る。眼鏡、漆器、繊維、を中心とした地場産業により、福井県は、人口10万人あたりの社長輩出数が1457人と32年連続全国トップです。とはいっても、地場産業以外の新規起業家が多いわけではありません。そんな中で若い人たちが週末にチャレンジしている姿は街に活気を与え、起業家精神が広がると考えられます。

◎地域ビジネスの達成状況・今後の見通し

ビジネスとして成功させるには、Chobitが常に5台～10代となった時、どのようなインパクトを街に与えることが出来るかが、焦点になると考えています。そして、飲食を考えたとき、核となる、母船の様なものを準備出来れば大きく飛躍する可能性があると思います。

◎成果目標

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
「Chobit」起業家	一人(一台)	五人(五台)	五人(五台)

7. 中間支援における課題と対応

●支援対象の自立を促進させる点で

◎中間支援において特に工夫した点

工夫とは言わないが、時間を惜しまず、対象者の話を聞くこと
だと思う。思うように出来ませんでした。。

◎中間支援にあたり苦労した点、うまくいかなかった点

自立を促進させ、且つ、期間内に成果目標を達成すること、
矛盾しているとは思わないが、極めて困難であった。

●加えて、中間支援をする立場で

◎貴協議会の成長(スキル、ノウハウの蓄積など)につながった点

協議会の運営ノウハウ(人的繋がりの有効活用)

◎体制として連携することにより達成できたこと、メリット、効果

ネットワークの構築

(情報の拡大、発信力強化、事業のスピードUP)

8. 事業終了後の予定

◎活動費の確保

クラウドファンディング、助成金、参加協力金、等

◎協議会の活動の継続に向けた事業展開

継続事業と新規事業

◎活動の体制

継続

◎新たな担い手に対する支援の事業計画(案) 順不同

平成27年度 さばえ蔵部 「リノベーションはコミュニケーション」

平成28年度 PARK 「伝統産業ガチャガチャ」

平成29年度 (特)エルコミュニティ 「地域プランコンテスト支援」